

シリーズ 福まち



北東白石地区
福祉のまち推進センター
事務局長
高橋 寿枝さん

北東白石地区
福祉のまち推進センター
事務局長
石井 利恵さん

北東白石地区
福祉のまち推進センター
運営委員長
豊間根 一雄さん

イチオシ
の活動

昨年度よりコロナもようやく落ち着き、ふれあい交流事業を開催しています。

今年度も様々な行事・集いの場をご用意しています。

北東白石地区福祉のまち推進センター

ふれあい交流事業の開催をととして

北東白石地区では、ふれあい交流事業への参加を通して、高齢者への“見守り”を行います。

コロナ禍には、活動を縮小せざるを得ない状況にありましたが、昨年度から地域の活動が本格的に再開し、「健康フェスタ」、「健康体操」、「三世代クリスマス会」、「地域食堂」といった行事・集いの場を通して、地域住民の“見守り”を行っています。

また、昨年度は北都町内会にて「高齢者の困りごと・社会参加アンケート」を実施し、アンケート結果より、地域の強みとして、健康に対する意識、関心が高く、今住んでいる地域にこれからも住み続けたい方が多いことがわかりました。また、現状・課題として、困りごとに関する相談先として機関名は知っていても実際に相談する人は少ないことがわかり、今後は専門機関も交えて、「専門機関に相談が必要なこと」について、話し合いを進めていきます。

“見守り”は身近な地域の中で、“気づき”を伝え合う仕組みであり、地域で対応できる内容、専門機関に伝達する内容を見極め、専門機関につなぐという役割を担っていると思います。

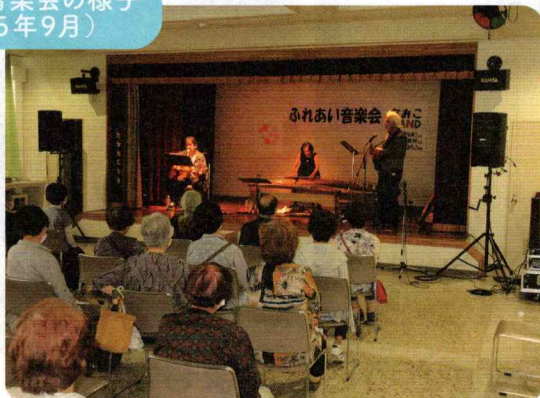
今後も町内会や民生委員、専門機関と連携して“見守り”活動に取り組んでいきます。

今後の活動について

昨年、地区の防災計画の更新に伴い、町内会へ行ったアンケート結果から、要配慮者（災害時に配慮が必要な方）が多くいらっしゃるようになりました。

そこで、『災害時要配慮者避難支援』の取り組みとして、今秋、役員向けに防災訓練と合わせた研修会を実施し、将来的には災害を想定した訓練の実施を考えており、災害時の地域での助け合い・支えあいが重要と考えています。

ふれあい音楽会の様子
(令和5年9月)



健康体操の様子
(令和5年11月)

